

岡山県

生涯学習 センターだより

Life long learning



 No.32
2008年2月

<http://www.pal.pref.okayama.jp/>
E-mail: syogaise@pref.okayama.jp



三学ばる 岡山

親子「ばらずし」作り体験 (H19.11.4)

Contents

特集「まなびピア岡山2007」

大会ハイライト
市町村の取組
ボランティアの活躍

2~3

「まなびピア岡山2007」 in 三学ばる岡山

岡山県生涯学習センター事業

4

お知らせ

生涯学習「受講生の集い」

5

わがまちの生涯学習

倉敷市
和気町

6

7

お知らせ

視聴覚教材貸出

8

岡山県生涯学習センター



秋篠宮殿下のおことば



主会場テークカットの様子



新庄町



真庭市



鏡野町



勝央町



西粟倉村

車で学ぶひろば



奈義町

総合閉会式
(倉敷市芸文館)

福島県への大会旗引継

ロボットスーツ
実演

屋内ステージ

生涯学習見本市
(桃太郎アリーナ)

新見市



吉備中央町



美咲町



美作市

「まなびピア岡山2007」は全国生涯学習フェスティバル史上初めて、県内27全市町村が参加した大会になりました。各地域独自の事業を計画し、主体的に取り組んでいたことや、出演・出展者をはじめ、行政・企業・学校・各種団体・ボランティアの方々ととの協働による取組によって、5日間で約81万人もの方々に参加・来場いただき、成功裏のうちに閉幕することができました。

「岡山発まなびスタイル」を全国に向け発信しました

- 岡山独自の歴史や文化・芸能、伝統産業の再発見と継承
- 岡山情報ハイウェイや先端産業の活用を紹介
- 国際交流、環境、人権などの現代的課題への取組を紹介
- スポーツレクリエーションの振興による地域の活性化
- 生涯学習拠点施設の機能を活かした学習活動を紹介

「まなびピア岡山2007」 大会ハイライト

大会キャッチフレーズ

「晴れの国 キラリ☆輝く まなびの輪」

- 期 間 平成19年11月2日(金)～6日(火)
- 会 場 岡山県総合グラウンド及び県内27全市町村



屋外ステージ



やよい体験ひろば

火おこし体験



生涯学習体験ひろば

熱気球
フライト体験

主会場の岡山県総合グラウンドをはじめ、県内各地の会場では予想を超える参加・来場者で大いに盛り上がり、生涯学習への参加の大きなきっかけづくりができました。



高梁市



矢掛町



井原市



浅口市



笠岡市



総社市



早島町



倉敷市



里庄町



久米南町



赤磐市



岡山市



玉野市



和気町



備前市



瀬戸内市

出展・参加団体数

◆主会場	437
生涯学習見本市	143
生涯学習体験ひろば	208
●体験デント	84
●地産地消デント	33
●国際交流・貢献	91
ステージ発表	86
●屋内	39
●屋外	47
◆参加事業	96
合 計	533

事業数

事業	数
県事業 (主会場事業、総合開会式、記念事業 生涯学習センター事業)	36
市町村主催事業	295
参加事業	112
合 計	443
協賛事業(9/1～12/9)	724



岡山の踊り



記念事業



桃太郎鍋

まちづくりフォーラム

未来に残したい写真展

吉備キビ桃太郎体操

ボランティアの活躍

県民総参加のもと「おもてなしの心」にあふれた大会とするため、さらに、大会を契機として生涯学習への関心を一層高めていただき、活発なボランティア活動が継続されるよう、ボランティアとの協働による大会運営を図りました。



アリーナ案内所

映像ボランティア

ゴミステーション

屋外案内所

この大会で、地域の特色を活かした生涯学習関連事業を展開することで地元の良いさを再発見できました。さらに、多くの関係機関や団体が協働することにより新たなネットワークが構築できたことは、この大会が一過性のもので終わることなく、今後の生涯学習による「人づくり」「地域社会づくり」につながっていく大きな財産になったと思います。

岡山県生涯学習センター事業

岡山県生涯学習センターでは、「まなびピア岡山2007」期間中、「学ぶ楽しさ・生かす喜び」をテーマに、次の8事業を実施しました。

その中には、岡山県生涯学習センターの施設ボランティア（愛称：ばるボランティア）や、おかやま長寿学園や岡山県生涯学習大学の修了生が中心となって行った互教互学講座もありました。また、その他にも、NPOと協働して開催した講座や、生涯学習に関するコンテンツを体験してもらうイベント等を開催しました。参加者は、5日間で五百余名にのぼり、多くの方に生涯学習の魅力に触れていただくことができました。

岡山県生涯学習センターでは、「まなびピア岡山2007」の成果を継承すべく、平成20年度以降もさまざまな学びと活躍の場の提供に努めてまいります。



●「めだかの学校」10年のあゆみ京山会



●P.S.S.R.
(パソコンセルフスタディールーム)



●三学ばる塾国文学講座
「源氏物語」を学ぶ



●NPO協働推進事業
岡山の伝統食を作ってみよう！
親子「ばらずし」作り体験



●三学ばる塾「陶芸の制作」



●「学ぶ楽しさ・生かす喜び」展



●のびキャンVODを体験！

岡山県生涯学習センターの視聴覚ライブラリーが所有する貴重な16ミリ映画の上映会を行いました。

※著作権保護のため写真は掲載できません。

●映画会 一懐かしの映像玉手箱ー

まなびピア岡山2007 in 三学ばる岡山

主会場の「生涯学習体験ひろば」にも出展！

三学ばる岡山（県立烏城高等学校・県立児童会館・県生涯学習センター）が共同で、主会場の「生涯学習体験ひろば」に出展しました。11月2日～6日までの5日間、それぞれが交代で、子どもたちに体験の場を提供しました。



県立烏城高等学校



県立児童会館



県生涯学習センター

平成19年度生涯学習「受講生の集い」

とき 平成20年3月9日(日) 12:30～15:30

ところ 岡山県生涯学習センター 体育館・ホール

岡山県生涯学習センターでは、生涯学習「受講生の集い」を開催します。これは、岡山県生涯学習センターが一般県民を対象に行っている岡山県生涯学習大学で、今年度学んできた方を対象に証書授与などの式典を行い、さらに受講生による体験発表、著名人をお迎えしての記念講演を行うものです。

このイベントには、式典部分も含めて、岡山県生涯学習大学の受講生の方だけでなく、どなたでも参加できます。多くの方のご参加をお待ちしています。

開会行事 12:30～12:35

式典 12:35～13:00

- ① 単位認定証書授与
- ② 修了証書授与
- ③ 奨励証授与
- ④ のびキャン博士称号授与書授与



体験発表 13:00～13:45

「まなびと人」

岡山県生涯学習大学受講生 秋山曜子氏

「生涯学習とまちづくり～現代社会の向こうの自分発見と創造 社会参画をめざして～」

岡山県生涯学習大学大学院コース受講生 龍石好美氏

「美作の中世山城と広報活動」

岡山県生涯学習大学大学院コース受講生 宮澤靖彦氏



記念講演 14:00～15:30

「笑って 笑って お元気に
～学ぶこと、教えること、そしてボランティア～」

講師 上方落語家 笑福亭学光氏



1954年3月6日生まれ。徳島県阿南市(旧那賀郡羽ノ浦町古毛)出身の落語家。本来の表記は笑福亭 學光。本名は多田政信(ただまさのぶ)。

高校卒業後、徳島相互銀行(現在の徳島銀行)に勤めたのち、1975年10月に笑福亭鶴光に入門。神戸「柳笑亭」にて初舞台。1994年よりラジオ番組をきっかけに、中国に小学校を建てるプロジェクトを進めている。

上方落語協会会員。阿波踊りの「はなしか連」連長。

毎月1回第4水曜日に大阪市港区の市民学習センターで「オーク弁天寄席」を講師の旭堂南麟と共催している。また、偶数月第2水曜日に香川県高松市の真宗大谷派東本願寺四国教務所で笑福亭小つるが主催する「御坊町寄席」に出演している。

『活躍☆キラリ』

岡山県内の各市町村で地域社会づくりに活躍されている人やグループを紹介します。

◆子育て広場

子育て広場は、乳幼児と保護者を対象としたコミュニティスペースで、9つの幼稚園の余裕教室を利用して行われています。子どもたちは、安全な園内でいろいろな友だちと成長過程に合わせた遊びをし、保護者の方は、子育ての悩みを相談したり子育てに関する情報を交換したりと楽しい時間を過ごしています。この子育て広場を支えているのが、「ネットワーク」と呼ばれる子育て経験豊かなボランティアです。

ネットワークは、自身の子育て体験で得た経験を活かすだけでなく、年2回の研修会を活用して自己研鑽（生涯学習）しています。子ども、保護者、ネットワークが三位一体となり、互いに成長を助け合うための活動が行われているのが子育て広場であり、広場の活動に欠かせないのが地域ボランティア（先輩お母さんなど）です。

●子育て広場に参加してよかったこと



〔参加者のアンケート〕から抜粋

子育て環境と子ども育ち ～子どもの成長、親の思いとボランティアの思い～

倉敷市では、子育てを支援するために様々なボランティアの方が力を発揮しています。子育てに戸惑うこともあるけれど、保護者の願いもボランティアの願いも同じこと。「子どもの健やかな成長」を願っています。

◆冒険遊び場

遊び場ができて6年目！子どもの育つ環境に疑問を持つ親たちが集まり「遊び場を考える会」を発足し、手探りで始めた冒険遊び場（プレーパーク）には、いつも子どもたちの笑顔があふれています。それは、ハンモックに揺られたり、リヤカーに乗って駆け回ったり、ウォータースライダーで服をビショビショにしたりと思い通りに遊べるからです。時には、命の大切さを学びながら、いただき物の鴨の毛をむしってさばいて食べてしまうこともあります。

自由と責任の共存する冒険遊び場を支えるのは、プレーリーダーとスタッフです。スタッフは、子どもが一生懸命起こした火が広がらないかハラハラしたり、子どもの遊びにちょっと一言言いたくなる保護者のことを気かけたりと心配がつきません。また、「せっかく遊び場へ来たのだからアレもさせたい、コレもさせたい」という保護者の思いと、「子どもの〇〇したいを大切にあげられる遊び場を作る」という理想の板ばさみに頭を悩ませています。しかし、子どもの成長には「遊ばせ場」ではなく「遊び場」が必要だという思いを胸に、遊び場のスタッフは、これからも活動を続けていきます。（酒津公園で月1回開催）



冒険遊び場で遊ぶ子どもたち

●プレーパークってどんなところ～？

- ☆思いついたままにいたずらしても怒らない大人がいる（小4・男子）
- ☆失敗しても怒られないから、なんべんでも挑戦できるのがいい（中3・女子）
- ☆いろんな友だちができて、なくなったら困るところ（小3・女子）
- ☆火や木や竹などが使えているんな工作ができる（小3・男子）

「プレーパークってどんなところ？ って来ている人たちに聞いてみました」から抜粋



玉島幼稚園子育て広場



中洲幼稚園子育て広場

倉敷市

和気町

「畑のいもがそろそろ食べ頃になったから、子どもたちに掘らせたいんじや。」「蛸が飛び出したんで、ふるさと先生から子どもたちに知らせてやってちょうだい。」などと、地域の方が学校を訪れたり、電話をしたりしてこられる。また、ゲストティーチャーとして子どもを指導してくださる地域の方も増えました。

地域の「出来事」「人」を掘り起こし、子どもたちの活動に結びつけたふるさと教員が、「和気町のふるさと先生」として地域に根をおろし、その役割を果たすようになってきました。

●和気町のふるさと教員制度

「ふるさと教員制度」は、徳島県海部町（現海陽町）のふるさと教員制度を参考にし、旧和気町で教育に関わる町独自



ふるさと教員の授業風景

ふるさと教員ってなに？ ～地域と学校の橋渡し～

地域の方を迎えての学習の計画・準備・実施・総合的な学習の時間にも、ふるさと教員が大いに活躍しています。和気町の各小学校では総合的な学習の時間に、地域の名人を迎えた学習を行っています。たとえば、和気小学校では、地域のつり名人をゲストティーチャーとして迎え釣り竿のつくり方を教えていただき、自分の釣り竿をつくり、近くの川で釣り大会を開催しました。

また、日笠小学校では、5年生が地域の農家の人にお世話になりながら、5月にもみまき、6月に田植え、10月には稲刈りと、米づくりを体験しました。他の小学校でも、地域の人と一緒に野菜を植え、収穫した野菜を使つての料理コンテストの開催など、総合的な学習の時間を活かしふるさとの地域素材（もの・こと・人）を見だし、教材化し、授業や校外での活動を通して、子どもたちに伝えています。

地域と学校・児童を結びつけるコーディネーターともいべきものが、ふるさと教員なのです。



活動の様子

の制度として平成12年に発足したもので、今年度で8年目になります。児童の体験活動を推進するとともに、ふるさとを愛する児童を育成することを目的として、ふるさと教員として、教員免許をもった人を公募し、町の予算で採用しています。

ふるさと教員の活動内容、活動目的を大きく挙げると、次のとおりです。町の歴史に詳しい人や、歴史民俗資料館の学芸員から話を聞いて、地域の中にとけ込んでいる文化財や特別天然記念物等について、再発見をしていく。また、2年生の生活科「町たんけん」の学習では、児童が学校周辺に出かけ、商店や農家の方に話を聞いて、地域の方々との交流を深めたり、身近な自然から四季の移り変わりを感じたりする。この際に、地域の歴史に詳しい人の発掘や、事前の視察や打ち合わせ、引率をふるさと教員が行います。



活動の様子

●こうした活動が次第に根を下ろし、今では次のような成果が上がっています。

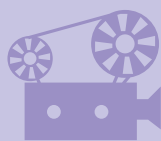
◎各学校では「ふるさと」を学習に組み込んだ授業が、しっかりと行われるようになりました。そして子どもが、自分が住んでいる地域に体験的に関わり、様々な視点から見つめることで、ふるさとを誇りに思う子どもの育成につながっています。

◎ふるさと教員が、地域で行われる行事などの情報を子どもに理解しやすく伝え、参加を呼びかけるとともに、必要に応じて参加のための練習を実施したり、行事などに子どもたちと一緒に参加し、必要な指導をしたりすることで、子どもが地域の行事、社会教育の行事などへ積極的に参加するようになってきました。

◎地域の方々が、ゲストティーチャーとして授業に参加される機会が増え、「ふるさと教員が、地域と学校をつなぐ先生である」という認識が地域の方々にも定着してきています。

◎地域の方々が学校や児童のことをよく知るようになり、登下校時に児童に声をかけたり、安全ボランティアに登録したりしてくださる人が増え、地域で子どもを育てていこうというネットワークが広がっています。

これからも、地域の「ふるさと先生」として活躍してくれることでしょう。



平成19年度 購入新着教材

貸出無料

DVD

D0066	狂言への招待 京都大蔵流茂山千五郎家
D0071	夜回り先生水谷修のメッセージ
D0075	ケータイネット社会の落とし穴
D0077	違法ドラッグにNO! 未来はキミが思うほど悪くない
D0078	夏服の少女たち
D0080	幼児とのかかわりを考えるシリーズ
D0084	こどもにんぎょう劇セレクション
D0087	にじいろのさかな
D0090	働きづづけてよかった 私たちの妊娠・出産・子育て体験

16ミリフィルム

2073	ちびまるこちゃん 宝さがしゲーム
------	------------------

VHS

V1670	火事からみんなを守る!
V1671	交通事故からみんなを守る!
V1672	面接シュミレーション 高校生版
V1673	著作権って何? 情報活用のマナーとルール
V1676	かんからさんしん

県内の学校・社会教育施設・サークル等に無料で貸出しています。

視聴覚教材の利用の仕方

—教材の検索と貸し出し予約—

視聴覚教材目録がなくても
インターネットを使えば大丈夫!

- ① ホームページを使うと便利です
<http://www.pal.pref.okayama.jp/>
 「ばるネット岡山」の「視聴覚教材」から検索
 できます。



- ② 電話(086-251-9752)で予約します
 ●3か月前の月の初日から予約可能
 ●1度に3本まで
 ●期間は7泊8日以内(宅配の場合、配送期間も含む)
- ③ 借用申込書を記入後、
 FAX(086-251-9757) または郵送してください
- ④ 教材の受け取り
 センターへ直接来所
 または、宅配(送料は利用者負担)

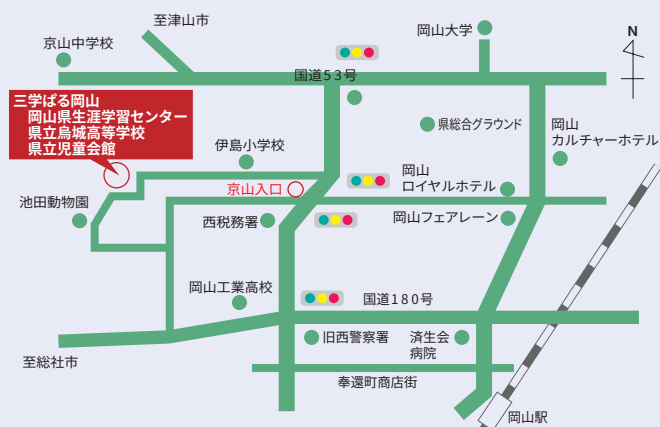
三学ばる岡山

生涯学習とは、生活の向上、職業能力の向上や自己の実現をめざし、家庭、学校、地域社会、職場等のさまざまな場で生涯にわたって習い学ぶことです。

江戸時代の儒学者、佐藤一斎の著した『言志晩録』の中に、
 「少にして学べば、則ち壮にして為すこと有り。壮にして学べば、則ち老にして衰えず。老にして学べば、則ち死して朽ちず。」という言葉があり、生涯にわたっての学習の大切さを説いています。こ

のことは生涯学習がめざすものであることから、生涯学習センター・鳥城高等学校・児童会館の一带に県民の「少・壮・老」の三代が仲間(ばる)として集い、楽しく学習や交流ができる親しみやすい生涯学習ゾーンとなるよう「三学ばる岡山」の愛称が付けられました。

交通案内 ACCESS MAP



車	●JR岡山駅西口から約5分 ●山陽自動車道岡山ICから約10分
バス	岡電バス JR岡山駅西口から中央病院線京山入口下車徒歩8分(所要時間約13分)
徒歩	●JR岡山駅西口から約25分(約1.7km)

開所時間

平日(火曜日～土曜日) 午前9時から午後9時まで
 日曜日 午前9時から午後5時まで

休所日

月曜日、国民の祝日・休日、
 12月28日から翌年1月4日まで
 ※月曜日が祝日又は国民の休日の場合、当日を開所し、翌日の火曜日を休所にさせていただきます。

お問い合わせ先

- 講座 (086) 251-9751 (振興課直通)
- 教材・機材等の利用 (086) 251-9752 (情報課直通)
- 学習相談・こどもセンター (086) 251-9758 (直通)
- 施設利用 (086) 251-9788 (予約)
 (086) 251-9750 (その他)

編集発行

三学ばる岡山
岡山県生涯学習センター

〒700-0016 岡山市伊島町3-1-1 TEL.086-251-9750(代表) FAX.086-251-9757 平成20年2月発行



この冊子は、環境に配慮した大豆油墨と再生紙を使用して作られています。